

## 祈りの条件 第1回

## □ イントロダクション

聖書は、祈りが神に聞かれるためには、一定の条件を満たす必要がある、と教えている。

たとえば福音書を見ると、イエスが少なくとも次の3つの条件を挙げている。

信仰をもって祈ること、イエスのうちにとどまっていること、そして、イエスの名において祈ることである。

今回からは、祈りの条件に関する学びに入る。この学びは、大きく二つに分けられる。

第一は、「祈り手に求められる条件」、

第二は、「だれに何をどのように祈るかということに関する条件」である。

## □ 「第一 祈り手に求められる条件」のアウトライン

A) 祈り手個人が満たすべき前提条件 13

B) 罪を言い表すこと

C) 目を覚ましていること

D) 信仰をもって祈ること

1. 信じること

2. 何を信じて祈るのか

3. 神の約束の上に立つこと

4. 祈る前に信じていること

E) 神のみこころに一致していること

□ 「祈り手個人が満たすべき前提条件」・・・聖書には、祈り手が個人的に満たすべき前提条件が13件ある。

1. <誠実に祈ること>

(1) 詩 145:18 主を呼び求める者すべて まことをもって主を呼び求める者すべてに 主は近くあられます。

(2) マタ 6:5 また、祈るとき偽善者たちのようであってははいけません。彼らは人々に見えるように、会堂や大通りの角に立って祈るのが好きだからです。

(3) マコ 12:40 (律法学者たちは) やもめたちの家を食い尽くし、見栄を張って長く祈ります。

## 2. 《畏怖の念をもって祈ること》

- (1) 伝道 5:2 神の前では、軽々しく心焦ってことばを出すな。
- (2) マタ 6:9 ですから、あなたがたはこう祈りなさい。「天にいます私たちの父よ。  
御名が聖なるものとされますように。
- (3) ヘブ 12:28~29 このように揺り動かされない御国を受けるのですから、私たちは感謝しようではありませんか。感謝しつつ、敬虔と恐れをもって、神に喜ばれる礼拝をささげようではありませんか。私たちの神は焼き尽くす火なのです。
  - 敬虔<sup>ギ</sup>アイドース = (人に対して) 内気、(神に対して) 控えめ・畏怖の念

## 3. 《謙遜であること》

- (1) 詩 10:17 主よ あなたは貧しい者たちの願いを聞いてくださいます。
- (2) ルカ 18:9~14
  - ① 9~10節 自分は正しいと確信していて、ほかの人々を見下している人たちに、イエスはこのようなたとえを話された。「二人の人が祈るために宮に上って行った。一人はパリサイ人で、もう一人は取税人であった。
  - ② 11~12節 パリサイ人は立って、心の中でこんな祈りをした。『神よ。私がほかの人たちのように、奪い取る者、不正な者、姦淫する者でないこと、あるいは、この取税人のようでないことを感謝します。私は週に二度断食し、自分が得ているすべてのものから、十分の一を献げております。』
    - この祈りは、実のところ、祈りではない。祈りの時間に宮に上っているが、ここでパリサイ人が心の中で神に語っているのは、自分の誇りである。神の前に自分の必要、願いについて何も祈っていない。
  - ③ 13節 一方、取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようともせず、自分の胸をたたいて言った。『神様、罪人の私をあわれんでください。』
    - 取税人は、明確に自分の必要を祈りの中で表明した。
  - ④ 14節 あなたがたに言いますが、義と認められて家に帰ったのは、あのパリサイ人ではなく、この人です。だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるのです。
    - イエスははっきりと断言した。神によしとされる祈りをしたのは、取税人の方である。その理由は、自分を低くしたからである。

## 4. &lt;&lt;粘り強いこと&gt;&gt;

## (1) ルカ 11 : 5~13

- ① 真夜中に突然の訪問客があった。自分の家には出してあげられる食べ物が何もない。そこで近所の友人の家に行って、パンを貸してくれるように頼んだ。その友人はもう床に入っていたので起きたくないといったんは家の中から断った。しかし、しつこく頼めば、起き出して戸を開け、必要なものをくれるだろう。
- ② このたとえ話のポイントは、しつこく頼むことで願い求めがかなえられるということである。粘り強く祈る、その理由は、そのような祈りが結果を得るからである。
- ③ 9節では「求めなさい」「探しなさい」「たたきなさい」とある。その時制は、継続的な行為を示している。直訳すれば、「求め続けよ」「捜し続けよ」「たたき続けよ」である。続けるために必要なことは、粘り強さである。

(2) 9節は、祈りの3つの段階を示している。第一段階の「求める」で終わらずに、大段階の「探す」、第三段階の「たたく」へと続くために必要なことは、粘り強さである。

## ① 第一段階 求める

- ヤコブ 1 : 5~6 あなたがたのうちに、知恵が欠けている人がいるなら、その人は、だれにでも惜しみなく、とがめることなく与えてくださる神に求めなさい。そうすれば与えられます。ただし、少しも疑わずに、信じて求めなさい。疑う人は、風に吹かれて揺れ動く、海の大波のようです。
- この段階は、自分の必要を率直に神に申し上げること。祈りの条件は、疑わずに信じて求めること

## ② 第二段階 探す

- II コリ 12:8~9 この使いについて、私から去らせてくださるようにと、私は三度、主に願いました。しかし主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのついに完全に現れるからである」と言われました。
- この段階は、祈りの答えを探し見出そうとすること

## ③ 第三段階 たたく

- ロマ 1 : 9~12 私が御子の福音を伝えつつ心から仕えている神が証ししてくださることで、私は絶えずあなたがたのことを思い、祈るときにはいつも、神にみこころにあつて、今度こそついに道が開かれ、何とかしてあなたがたのところに行けるようにと願っています。私があるがたに会いたいと切に望むのは、御霊の賜物をいくらかでも分け与えて、

あなたがたを強くしたいからです。というより、あなたがたの間において、あなたがたと私の互いの信仰によって、ともの励ましを受けたいのです。

- この段階は、道が開かれるよう、門戸が開かれるよう、ノックし続けること。

#### 5. 《神のみこころを受け容れること》

- (1) マタ 6 : 10 御国が来ますように。みこころが天で行われるように、地でも行われますように。
- (2) マタ 26 : 39 それからイエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈られた。「わが父よ、できることなら、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。しかし、わたしが望むようにではなく、あなたが望まれるままに、なさってください。」
- (3) II コリ 12 : 8~9 この使いについて、私から去らせてくださるようにと、私は三度、主に願いました。しかし主は、「わたしの恵みはあなたに十分である。わたしの力は弱さのついに完全に現れるからである」と言われました。
- (4) I ヨハ 5 : 14 何事でも神のみこころに従って願うなら、神は聞いてくださるということ、これこそ神に対して私たちが抱いている確信です。

#### 6. 《神の命令に従うこと》

- (1) I ヨハ 3 : 22 そして、求めるものを何でも神からいただくことができます。私たちが神の命令を守り、神の喜ばれることを行っているからです。
  - ① 祈りの内容自体が神の御性質にそうものでなければ、祈りが聞かれることはない。同様に、祈り手自身もまた、神の御性質にそっていることが必要。私たちが神の御性質にそうとは、どういうことか。それは、私たちが神に従順であろうとすること、すなわち神の命令を守りたいと願っていること、である。

#### 7. 《熱心に祈ること》

- (1) ルカ 22 : 44 イエスは苦しみもだえて、いよいよ切に祈られた。汗が血のしずくのように地に落ちた。
  - ① ゲツセマネの園での祈り。イエスは三度（マタイ 26 : 44）祈った。
  - ② 三度という回数、そして「苦しみもだえて」、いずれも「切に」（熱心に）祈ったことの表れである。
- (2) 使徒 12 : 5 こうしてペテロは牢に閉じ込められていたが、教会は彼のために、熱心な祈りを神にささげていた。

## 8. 《メシアの中にとどまること》

- (1) ヨハ 15:7 あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら、何でも欲しいものを求めなさい。そうすれば、それはかなえられます。
- ① 「とどまる」とは、【誰か、または何かと、生き生きとしたつながりがあること】を意味する。〇〇と結び合わされている、〇〇に完全に従っている、〇〇に完全に依存している、といったニュアンスがある。しがたって、メシアの中にとどまるとは、主イエス・キリストとの生き生きとした交わりの中にいるということ。
- ② ヨハ 15:1~8 イエスはぶどうの木、信者はその枝である。
- 枝が結ぶ実を決めるのは、木である。
  - もし、私たちが主イエスとの交わりの中にいるなら、私たちは主イエスが決めることを何でも、求めるようになる。そのような求めであれば、それはかなえられる。
  - 7節の「何でも欲しいものを」とは、信者が欲しい物を何でも、という意味ではない。聖書にはそのような約束はない。7節の前提は、「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまっているなら」である。
- ③ ヨハ 15:10 わたしが父の戒めを守って、父の愛にとどまっているのと同じように、あなたがたもわたしの戒めを守るなら、私の愛にとどまっているのです。
- 私たちが主イエスとの交わりの中にあることを示すのは、主イエスの命令を私たちが守ることである。
- ④ メシアの中にとどまり続けるためには、主イエスに合わせて私たち自身が整えられることも意味する。そうしてはじめて、途切れることのない交わりが維持されるからである。私たちは、イエスに依り頼むべき者である。そのことをいつも意識し、意図的にイエスに依存すること、それが実を結ぶことにつながる。
- ⑤ 4節の「わたしもあなたがたの中にとどまります」の意味・・・主イエスが私たちの内に住んでくださり、私たちと生き生きとして交わりを持ってくださるということ

## 9. 《赦す心でいること》

- (1) マタ 6 : 12 私たちの負い目をお赦してください。私たちも、私たちに負い目のある人たちを赦します。
- (2) マコ 11 : 25 また祈るために立ち上げるとき、だれかに対し恨んでいることがあるなら、赦しなさい。そうすれば、天におられるあなたがたの父も、あなたがたの過ちを赦してくださいます。

## 10. 《悔い改めていること》

- (1) ルカ 18 : 13~14 一方、取税人は遠く離れて立ち、目を天に向けようともせず、自分の胸をたたいて言った。『神様、罪人の私をあわれんでください。』あなたがたに言いますが、義と認められて家に帰ったのは、あのパリサイ人ではなく、この人です。だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるのです。
  - ① この取税人は、真に悔い改める思いを表明した。

## 11. 《敬虔であること》 敬虔な人、正しい人、主を恐れる者、心の直ぐな人

- (1) 詩 32 : 6 それゆえ、敬虔な人はみな祈ります。
  - ① 32 : 1 その背きを赦され 罪をおおわれた人
  - ② 32 : 2 主が咎をお認めにならず その霊に欺きがない人
  - ③ 32 : 5 私は自分の罪をあなたに知らせ 自分の咎を隠しませんでした。私は言いました。「私の背きを主に告白しよう」と。すると あなたは私の罪のどがめを赦してくださいました。
- (2) 詩 34 : 15 主の目は 正しい人たちの上であり 主の耳は 彼らの叫びに傾けられる
- (3) 詩 145 : 19 また 主を恐れる者の願いをかなえ 彼らの叫びを聞いて 救われます。
- (4) 箴言 15 : 8 心の直ぐな人の祈りは 主に受け入れられる。
- (5) I ペテ 3 : 12 =詩 34 : 15 の引用 ⇒ I ペテロ 3 : 9 悪に対して悪を返さず、侮辱に対して侮辱を返さず、逆に祝福しなさい。あなたがたは祝福を受け継ぐために召されたのです。

## 12. &lt;&lt;大胆であること&gt;&gt;

(1) ヘブ 4:16 ですから私たちは、あわれみを受け、また恵みをいただいて、折にかなった助けを受けるために、大胆に恵みの御座に近づこうではありませんか。

① 大胆でいられる根拠は、私たちには、私たちの弱さに同情できる大祭司がおられるということ。

- 15節 私たちの大祭司は、私たちの弱さに同情できない方ではありません。罪は犯しませんでした。すべての点において、私たちと同じように試みにあわれたのです。

## 13. &lt;&lt;力強く祈ること&gt;&gt;

(1) ヤコブ 5:16 正しい人の祈りは、働くと大きな力があります。

① 祈り ギデエーシス=願ひ求め・・・熱意と強さをもって願ひ求めることを意味する。その実例として、17～18節では、旧約聖書の預言者のひとり、エリヤが紹介されている。

- ヤコブ 5:17～18 エリヤは私たちと同じ人間でしたが、雨が降らないように熱心に祈ると、三年六か月の間、雨は地に降りませんでした。それから彼は再び祈りました。すると、天は雨を降らせ、地はその実を実らせました。

② 正しい人・・・文脈上、14節の教会の長老たちを指す。正しい人、義人とは、神のことばを実行する人(1:22)である。

- ヤコブ 5:14～16 あなたがたのうちに病気の人がいれば、教会の長老たちを招き、主の御名によって、オリーブ油を塗って祈ってもらいなさい。信仰による祈りは、病んでいる人を立ち上がらせてくださいます。もしその人が罪を犯していたなら、その罪は癒されます。ですから、あなたがたは癒されるために、互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい。正しい人の祈りは、働くと大きな力があります。
- 波線下線部の「互いに罪を言い表し、互いのために祈りなさい」・・・「一方は罪を言い表し、他方は相手のために祈りなさい」→ 罪が原因で病気になった信者は、その罪を長老たちに言い表し、それを聞いた長老たちはその信者のために祈る。

## 福岡での宣教活動に関してのご提案

前回の熊本聖書フォーラムの集会、3月28日、実集会に参加して下さった兄弟姉妹において、今後の宣教活動について話し合われました。

特に、福岡集会の兄弟姉妹の中にはオンラインでの参加が難しい方々がおられること、現行のミニ集会では参加者数が限定されて順番待ちとなることなど、福岡集会に関する懸案について、意見が出されました。

そこで出た意見をまとめ、本日、皆さまに次の通り、提案いたします。

1. 九州キリスト教会館における実集会を再開します。密を避け、参加定員15名とします。会場入り口では検温をし、消毒液を設置します。
2. オンライン配信は継続しますが、九州キリスト教会館の会議室にはWi-Fiの通信環境はないので、清水がモバイルWi-Fiの回線契約をして、それを利用します。
3. 会議室をお借りするキリスト教会館への献金（1回5千円程度）、機材や通信料など、宣教費用を賄うため、熊本・みやま・福岡の3集会で継続的に献金を募ります。
4. 献金は1年単位で収支を報告し、余剰金は次年度に繰り越しますが、もし福岡宣教を終了するときに残高があるときは、その全額をユダヤ人伝道に捧げます。
5. 献金は、**自由・匿名の原則**によります。
  - (1) 実集会では、献金箱を備えます。献金を入れていただく際には、封筒などに入れてあるとしても、ご自分の名前や金額を記すことにはないようお願いします。
  - (2) 振込の場合は、口座管理者の清水誠一と会計監査の兄弟姉妹1名、計2名のみが、献金者と献金の額を知り得ることになりますが、守秘義務を負います。
  - (3) 献金報告は、献金の受け入れ期間、献金収入金額、支出の明細と金額、残高の4項目のみの開示となります。献金者の個人名や個別の金額は開示されません。
6. 振込先は、次の口座です。清水の個人名の口座ですが、フォーラムの収支のみに使用している口座です。

ゆうちょ銀行 総合口座 記号10550 番号9074591  
口座名義 清水 誠一 (シズ セイイチ)

ゆうちょ銀行以外の金融機関から上記口座に振り込む場合は、次の内容を指定ください。

【店名】 ○五八 (読み ゼロゴハチ)

【店番】 058

【預金種目】 普通預金 【口座番号】 0907459